

# 扉とびら

2017年10月7日発行

発行 広報委員会

東芝病院 〒140-8522

東京都品川区東大井6丁目3番22号

TEL (03) 3764-0511 FAX (03) 3764-3415

http://www.toshiba-hospital.jp/

題字 金井 弘一

# 68

## PULSE

### 東芝病院ホームページを リニューアルしました！

広報委員会 ホームページ担当 事務部 林 和 秀



#### 1. 始まり

それは3年前の2015年4月、病院内で“スマートフォンでもきちんとアクセスできるように”と話が出たのが始まりでした。当時のホームページをスマートフォンで検索すると、表示されても画面の大きさが合わず、2本の指先で表示を拡大（“ピンチアウト”と言います）しないとしっかり見られない状況でした。余談ですが、その頃私の母もスマートフォン（高齢者向け設計）を持つようになり、調べ方も覚え、何か検索したりしていました。…そうです「東芝病院」と検索されたら、スマートフォン画面サイズにも合致するホームページ画面が表示されてこないといけないのだ…」と私は感じました。

#### 2. 構築への道

早速、構想・構築に入りました。まず方式については、スマートフォンでもパソコン画面でも見られる様に“レスポンスウェブデザイン”を採用し、

中身構成については、画面右側メニューに“頭が痛い”時などの症状から東芝病院では何科を受診した方が良いかが解る（参考目安）仕組みを用意【図①】しました。他では、大き目サイズのアイコンを設けて主なページへ飛べるようにしたり【図②】、スマートフォン上では案内記述の電話番号からそのまま電話をかけられるようにと色々改良を加え、全体的に視認性・操作性の向上に努めました。構想から完成まで約1年強でしたが、2016年6月6日にリニューアル稼働を迎える事が出来ました。

#### 3. そして現在

稼働からさらに約1年4ヶ月が経過して運用面も安定してきました。さらには利用者様、知人（会社関係者含）から「よくなった！」などなどの声・評判も頂くようになりました。逆に「ここは、こうして…」などご指摘を受けた場合は速やかに修正、継続して皆様に気持ちよく見て頂けるように心がけています。ちなみに、各科の更新記事・レイアウトなどは各科関係者で制作しています。また、医療情報の紹介記事なども沢山掲載することで、医療知識取得にも利用・活用が出来るようにと工夫しております。

#### 4. これから

初代ホームページは2000年4月に誕生し、以降リニューアルしながら引き継がれ、現在のホームページは4代目になります。現在、毎月の平均アクセス件数は延べ約2万7千件と順調な運営が行われ、また歴代からのアクセス累計総数は、そろそろ“300万件達成”を目前にしています。さらに、今年の5月より、更なる情報発信ツールとして、病院公式



“Facebook”の活用をスタートさせました【図③】。病院の外来・入院情報はもちろんの事、各種取り組みや行事などに関する情報をますますパワーアップして発信していきます。これからもホームページと新入りツールのFacebook共々、是非ご活用・ご愛

好賜りますようお願い申し上げます。

■東芝病院ホームページ：

<http://www.toshiba-hospital.jp/>

■東芝病院公式 Facebook：

<https://www.facebook.com/toshiba.hospital/>

## ナース通信

# 特定行為研修修了者として 厚生労働省に登録されました！

特定看護師 坂口 みきよ  
特定看護師 藤野 由紀子

「特定行為研修を修了した看護師」を略して「特定看護師」といいます。

これからの高齢社会に向けて高まる医療ニーズに対応する為に、2015年から特定行為といわれるいくつかの医行為を、特定行為研修を修了した看護師が自らの判断で行うことができるようになりました。

2017年3月、当院から2名の特定看護師が誕生しています。

今後は症例を重ね、看護ケアの中でタイムリーに患者さんに関われるように、また看護師だからこそ気付けることを大切に日々チーム医療に取り組んでいきたいと考えています。



PICC 挿入する坂口

末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）の挿入の他、中心静脈カテーテルの抜去や高カロリー輸液の投与、脱水の補正、感染兆候のある患者への薬剤投与が実施できるようになりました。

褥瘡や慢性創傷の壊死組織の除去、創傷に対する陰圧閉鎖療法及び創部ドレーンの抜去が出来るようになりました。現在、褥瘡回診で皮膚科医の指導のもと壊死組織のデブリードマンを行っています。

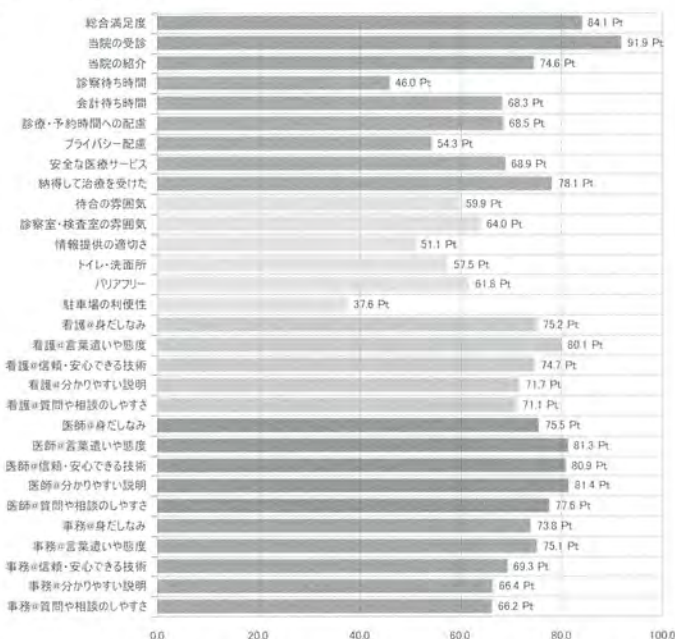


デブリードマンする藤野

2016年度も患者満足度調査にご協力いただきましてありがとうございました。  
調査結果を基にさらなるサービス向上を目指して、職員一同より一層の努力を続けて参ります。

## 【2016年度：外来患者満足度調査 結果報告】 調査期間：2016年12月20日～12月27日うち4日間

### IV-1. 満足度ポイント一覧



総合満足度 84.1 ポイント



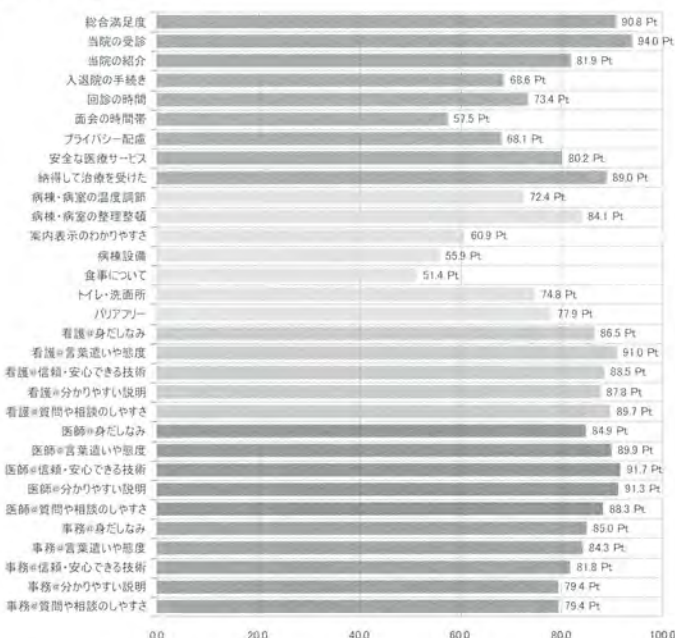
最もポイントが高いのは、「当院の受診」の91.9ポイントです。  
次いで「総合満足度」の84.1ポイント、「医師#分かりやすい説明」の81.4ポイントとなっています。  
最もポイントが低いのは、「駐車場の利便性」の37.6ポイントです。  
※ポイントは小数点第一位で四捨五入しています。

アンケート回収数 1066  
有効回答数(率) 1050 (98.5%)

総合満足度は84.1ポイントでした。最高ポイントは「次回も当院を受診したい91.9ポイント」でした。最低ポイントは「駐車場の利便性37.6ポイント」でした。施設、設備に関するポイントが全体的に低い結果となっております。今後も皆様に快適にご利用いただけますよう、設備・設備の維持と向上に努めて参ります。

## 【2016年度：入院患者満足度調査 結果報告】 調査期間：2016年12月20日～2017年2月19日

### IV-1. 満足度ポイント一覧



総合満足度 90.8 ポイント



最もポイントが高いのは、「当院の受診」の94.0ポイントです。  
次いで「医師#信頼・安心できる技術」の91.7ポイント、「医師#分かりやすい説明」の91.3ポイントとなっています。  
最もポイントが低いのは、「食事について」の51.4ポイントです。  
※ポイントは小数点第一位で四捨五入しています。

アンケート回収数 375  
有効回答数(率) 372 (99.2%)

総合満足度は90.8ポイントでした。最高ポイントは「次回も当院を受診したい94.0ポイント」でした。最低ポイントは「食事について51.4ポイント」でした。個々の嗜好に配慮し、少しでもご満足いただけますよう努力して参ります。 【詳細は病院ホームページに掲載しておりますので、併せてご覧ください】

## ■ 新任医師紹介 ■

### 血液内科 山下知子



2017年7月より血液内科に赴任してまいりました山下知子と申します。これまで青梅市立総合病院、武蔵野赤十字病院、東京医科歯科大学で勤務してまいりました。東芝病院が非常に働きやすい環境であるという評判は以前よりお聞きしていたので、赴任の日を楽しみにしておりました。働き始めて1か月が経ちますが、病院全体として科や職種を超えて協力しながら診療にあたる雰囲気があり、おかげ様で充実した日々を過ごしております。

血液内科分野では稀な疾患が多く、患者さんにとってはあまり馴染みがないかもしれませんが、できる限り丁寧で分かりやすい説明を心掛けていきたいと思っております。また他の科の先生方からのご紹介で診断に至るケースも多く、血液疾患が疑われましたら気軽にお声かけいただければと存じます。どうぞよろしくお願いたします。

## こちら薬剤部



## 今年もインフルエンザワクチンを接種しましょう！

薬剤部 平田 暁人

今年もインフルエンザの季節が近づいてきました。毎年猛威を振るうインフルエンザ。

毎年インフルエンザワクチンを接種しているんだけど、今年もワクチン接種しないといけないの？ どうして？と思われる方もいらっしゃると思います。なぜ、インフルエンザワクチンは毎年接種しないといけないのでしょうか？ 近年テレビやラジオ、インターネットなどで、インフルエンザについて見かける事も多くなりましたが、今回改めてお話ししたいと思います。

まず、インフルエンザウイルスには、大きく分けてA型B型C型の3種類があります。この中で大きな流行となるのが、A型とB型です。A型にはH1N1、H5MN1といった亜型があります。HとNはインフルエンザウイルスの顔を定める、髪型と髪色のようなものです。H（正式名称：ヘマグルチニン）は16種類、N（正式名称：ノイラミニダーゼ）は9種類あり、HとNを組み合わせると全部で144種類あります。そしてこの中でもさらに出身地や生まれた年といったように細かく分かれていきます。B型には2種類（山形系統とビクトリア系統）あります。

インフルエンザワクチンは大きく流行するA型のH1N1型とH3N2型の2種と、B型2種の合計4種類が混合して作られています。先ほどお話ししたように、H1N1型、H3N2型でも出身地や生まれた年などの違いがあるので、毎年その中で、国が今年ももっとも広く流行するだろうと予測されるインフルエンザウイルスの種類を選び抜いて、インフルエンザワクチンが作られています。同じインフルエンザワクチンを接種しているようで、全く同じワクチンではないのです。その為、インフルエンザワクチンの予防接種が効いたり、効きにくかったりするのです。

インフルエンザワクチンを接種することで、インフルエンザウイルスに感染しにくくなったり、感染しても比較的軽い症状で済むようになっていきます。特に高齢者や小さいお子さんにおいては、重症化したり、肺炎や脳症といった合併症を引き起こしたりするリスクが高いため、合併症を減らすためにもインフルエンザワクチンの接種が推奨されています。インフルエンザが流行する時期は12月から翌年3月なので、遅くとも12月中旬までには接種を行い、感染予防（手洗い・うがい）にも努め、健康な毎日を過ごしていきましょう。

# 一筆啓上

職員のリレーでつなぐショート・エッセイ

## 結婚式

4階南病棟 松本 怜子



私事ではございますが、先日、結婚式をしました。今まで何度も友人の結婚式に参列してきましたが、あの華々しい雰囲気とお祭りのような楽しさに少し憧れがあり、自分が結婚式をあげるとしたらどんな式にしたいかといろいろ想像をしていました。しかし、実際に進行してみると、準備の大変さと忙しさに驚きました。私の場合、結婚式をしようとしてから準備期間が三ヶ月しかなかったため、特に忙しかったのだと思います。仕事や用事などで打ち合わせに行くことが難しい時は、メールや電話で打ち合せをさせてもらい、時には時間外に対応をしていただきました。結婚式の準備は平均して半年から一年はかかるといわれていますが、実際にやってみて、その準備期間の長さに納得しました。結婚式当日は、参列してくれた方々が皆笑顔でとても良い式になりました。両親はもちろんのこと、準備の時から手伝ってくれた友人や、会場の人たちに感謝の気持ちで一杯です。

## 旅とカメラ

5階南病棟 竹中 友梨



私の趣味は色々な国へ行き、その国の食べ物を食べ風景や建築物を見て、それらの写真を撮ることです。元々は京都の実家を離れてから京都の魅力を知り、京都ならではの風景や食べ物をカメラに収めたいと思ったのがきっかけでした。今年の7月にはフィンランドの首都ヘルシンキへ行きました。ヘルシンキはいくつもの湖と森と島、そして素晴らしい緑の公園のある活気溢れる海辺の街です。ヘルシンキは緑の首都とも言われており、その1/3は緑に覆われているため、リラックスするのに最適な環境でした。自然を感じるのが好きな私は、目の前に広がる壮大な湖と森を見た時、生きている喜び、そして言葉では言いあらわせない幸福を感じました。また、19世紀中頃に設計された新古典主義建築を中心とする美しい街並みにも魅力を感じました。港のそばにあるマーケット広場では朝市が常設されており、森で採れたブルーベリーやきのこ、北欧名物のサーモンが並んでおり、食文化を知るのもひとつの楽しみでした。実際に自分の足で歩き、物を見た時の感動は忘れられませんが、その瞬間をいつまでも思い出せるように、これからも自分の目で世界中を見てカメラに収めたいと思っています。

## ミュージカル鑑賞

健診センター 村松 香織



私の趣味はミュージカル鑑賞です。なかでもブロードウェイ版が大好きで、日本に公演に来ると必ずと言っていいほど観に行きます。本当に好きになってしまうと、3回でも5回でも観に行ってしまう。それだけでは終わらず、サウンドトラックを購入し、しばらくその作品にハマってしまいます。最近、母と一緒に「ウエストサイドストーリー」を鑑賞してきました。映画版もちろん良いのですが、目の前で繰り広げられる華やかで迫力のあるダンス・演劇・演奏に終始圧倒されました。ミュージカルにはシリアスなものから、コメディ、ダンス中心など様々なものがありますが、その中でも私のおすすめは、「ウィキッド」「キンキーブーツ」「マチルダ」です。どの作品も楽曲が素晴らしく、作品の世界に引き込まれてしまいました。来月には「ファインディング・ネバーランド」の公演があるので、今から楽しみで仕方ありません。もし、一度もミュージカルを観に行っていないという方は、ぜひ一度劇場に足を運んでみてはいかがでしょうか。

## 診察室より

### その胸の痛み、気胸かも？

外科 朴 成 進



こんにちは。外科の朴 成進（パク ソンジン）と申します。今日は日常の診療で比較的良好とみられる疾患である気胸についてお話ししたいと思います。

気胸について皆さんはどれくらい知っていますでしょうか。胸郭（肋骨に囲まれた空間）の中には肺があって、それが縮んでしまう病気？ 突然発症し、だんだん息が苦しくなる？ などのイメージをお持ちではないでしょうか。

発症の仕方を理解するうえで、まずは仕組みから簡単にご説明したいと思います。

胸郭の中には肺が収納されており、膨らんだり、縮んだりすることでガス交換を行っています。ただし肺そのものには筋肉がなく、自力では動きません。そこで肋骨の間にある筋肉、横隔膜が胸郭を広げることで肺を膨らませたり、縮ませたりしています。肺が適切に膨らむためには入れ物である胸郭と肺の表面の間に隙間があってははいけません。さまざまな原因により胸郭と肺の間に空気が入り込み、肺の膨張が妨げられること。これが気胸という病態です。

また気胸には1. 自然気胸、2. 外傷性気胸の2種類があります。

1. は若くて背が高いやせ型男性に多くみられます。肺の表面にブラと呼ばれる1-2cmほどの風船のような形態異常が発生し、これが破れることで起こります。ブラが発生する原因は、喫煙歴と関係するという報告もありますが、多くの場合不明です。咳やくしゃみが破裂のきっかけとなることもあります。何の前触れもなく突然破れることも多いようです。

2. は怪我による続発性のもので、多くは肋骨骨折に伴うもので、これは主にQQ搬送される患者さんにみられるものなので、見過ごされることはありません。また、保存的な治

療で軽快することが多く、再発することもあまりありません。

1. の自然気胸は保存的治療（チューブ挿入、脱気）でいったん軽快しても、まず再発します。根治させるには外科的手術が必要です。手術と言ってもいわゆる大手術ではなく、比較的小規模なブラ切除術で終わることが多いです。ブラは幸い肺の表面に発生します。また肺尖部（肺の上の方）とよばれる端の方に発生しやすいため、内視鏡を用いた胸腔鏡下での手術で行えることがほとんどです。3か所に1cmほどの小孔をあけ、スコープで観察しながら自動縫合器を用いて切除します。術後経過が問題なければ2、3日後に退院となります。手術時間も1時間程度です。

徐々に悪化する息苦しさ、胸から背中にかけての痛み。これらがみられたら気胸も考える必要があります。確定診断はCT検査を行う必要がありますが、当院では常時撮影可能です。気胸と診断された場合は外科の医師が、病状から治療内容まで丁寧に説明させていただきます。どうか我慢することなく、お気軽に受診してください。

